

昭和 39 年度

事業報告書

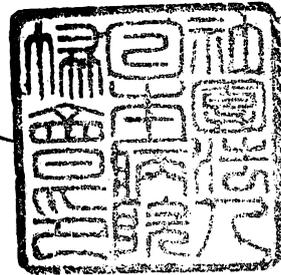
自 昭和 39 年 4 月 1 日
至 昭和 40 年 3 月 31 日

昭和40年4月30日

昭和39年度事業報告

社団法人

日本病院協会



(資料 1)

昭和 39 年度事業報告 (39.4.1 - 40.3.31)

社団法人 日本病院協会

第1 庶務

1. 一般事項

- 1) 39年度に於ける短期人間ドック実施病院指定 福岡九電病院以下 8病院
- 2) 6.17 新潟県北方震災のため関係各病院宛会長名にて見舞電報発信
 2. 1 短期人間ドックに関する契約書の一部(検査の項、点数の項、検査費用 11,600円を12,500円)更改
- 3) 3. 1 会報編集発行人を3月号より変更

第2 会議

1. 定期総会

4.24 東京都千代田区麴町1-4 東条会館

1) 報告事項

昭和38年度事業報告の件

2) 承認事項

昭和38年度歳入歳出決算の件

3) 議決事項

(1) 昭和39年度事業計画案の件

(2) 昭和39年度歳入、歳出予算案の件

2. 評議員会

定期評議員会

4.24 東京都千代田区麴町1-4 東条会館

1) 報告事項

昭和38年度事業報告の件

2) 承認事項

昭和38年度歳入、歳出決算の件

3) 議決事項

(1) 昭和39年度事業計画案の件

(2) 昭和39年度歳入、歳出予算案の件

3. 理事会

定期理事会

4.2.4 東京都千代田区麴町1-4 東条会館

1) 報告事項

昭和38年度事業報告の件

2) 承認事項

昭和38年度歳入、歳出決算の件

3) 議決事項

(1) 昭和39年度事業計画案の件

(2) 昭和39年度歳入、歳出予算の件

6.2.3 日本病院協会々議室

(1) 医師国家試験に関する事項

(2) 医師実地修練に関する事項

(3) 救急指定病院に関する事項

(4) 全国公私病院連盟に関する事項

(5) 社会保険医療費に関する事項

(6) 臨床予防医学に関する事項

(7) 保健文化費に関する事項

8.2.5 聖路加国際病院

(1) 医療費に関する事項

(2) 看護制度に関する事項

- (3) 健康保険制度に関する事項
- (4) 全国公私病院連盟に関する事項
- (5) 病院管理視察旅行に関する事項

1.0.2.7 聖路加国際病院

- (1) 日本病院協会々員について
- (2) 健康保険制度、看護制度に関する日本病院協会の意見の確認について
- (3) 委員会の報告事項

1.2.6 日本出版クラブ

- (1) 保険請求事務の合理化について
- (2) 看護業務についての研究
- (3) 保険制度、看護制度の問題について
- (4) 常務理事欠員補充について
- (5) 中医協の顧末について
- (6) 経済委員会の報告事項

3.2.3 聖路加国際病院

- (1) 昭和40年度役員改選に関する件
- (2) " 総会に関する件
- (3) 会費改正に関する件
- (4) 昭和40年度事業計画に関する件
- (5) " 予算の件

4. 常務理事会

39年度に於ける常務理事会を13回開催

第3 部会、研究会

(1) 病院診療管理部会

4.2.1 癌研究会附属病院 病院の医学研究について

5.27	東京消防庁	救急について
6.16	横浜赤十字病院	社会が作る看護学院
7.21	中央鉄道病院	医師と勤怠について
8.18	立正佼成会附属佼成病院	主治医権
10.20	関東労災病院	医学的リハビリテーション。サービス
12.15	国立東京第二病院	「臨床検査」副審「その簡易化」
1.9	虎の門病院	専門外来
3.16	駿河台日本大学病院	医師のオーダーと伝票制度

(2) 事務管理部会

4.9	日本病院協会々議室	① 事務管理部会今後の運営方法について ② 医療費問題
5.29	日本赤十字中央病院	病院組織上に於ける事務長の位置と仕事の範囲
6.11	駿河台日本大学病院	人手不足と外註の問題
8.13	虎の門病院	諸手当の設置と実施の実情
9.10	聖路加国際病院	事務の機械化と能率化
10.8	茨城県立中央病院	時間的勤務配置の工夫
11.12	都立墨東病院	講演「近代労務管理と労働関係法」 立教大学教授 賀来才二郎
12.10	武蔵野赤十字病院	基準看護、給食、寝具に伴う問題点
1.14	駿河台日本大学病院	昭和40年医療費改訂の問題点
2.12	順天堂大学病院	人集め対策
3.12	東京医大病院	手当の種類と額の実態

(3) 医事研究会

5.18	駿河台日本大学病院	医事業務の電子計算機導入の諸問題
7.15	駿河台日本大学病院	研究会の経過報告と、研究会今後の活動について
9.16	順天堂大学病院	請求事務の簡素化

- ① 日計方式の利害について
 - ② 一病一件方式の得失について
 - 1.1.1.8 立正佼成会附属佼成病院 外来受付業務の分析
 - 1.2.1.0 武蔵野赤十字病院 基準看護、給食、寝具に伴う問題点
 - ① 新患受付待ちについて
 - ② 再来受付待ちについて
 - ③ 診療待ちについて
 - ④ お薬待ちについて
 - 1.2.0 駿河台日本大学病院
 - ① 病院医事請求事務研究会議経過報告
 - ② 医療費算定、記帳、支払等について
- (4) 栄養管理研究会
 - 1.2.6 日本病院協会々議室 研究会今後の運営について
 - 2.2 聖路加国際病院 一般事項の討議
- (5) 看護管理部会
 - 3.2 日本病院協会々議室
 - ① 部会今後の運営について
 - ② 看護の人事管理について
- (6) 病院管理総合部会
 - 3.2.5 日本病院協会々議室 経営の合理化について
- (7) 看護婦、保健婦、助産婦制度会議
 - 9.1.0 健保会館

(8) 健康保険制度会議

9.11 健保会館

(9) 診療管理部会運営懇談会

2.16 日本病院協会々議室

(10) 病院予算編成座談会

2.24 神田学士会館

(11) 医事請求事務研究会

2.27 駿河台日本大学病院

第4委員会

(1) 広報委員会

1) 各月1回定期開催

2) 40年1月より(16.123)会報表紙デザイン変更

(2) 看護制度委員会……………1回開催

(3) 医療制度委員会……………2回開催

(4) 病院経済委員会……………5回開催

(5) 臨床予防医学委員会

1) 短期人間ドックセミナー及研究会

8月27日 セミナー 8月28日 研究会 社会文化会館

2) 短期人間ドックセミナー

12月5日 聖路加国際病院

第5 病院管理視察研究会

11月17日より19日まで3日間 下関及北九州地区に於て開催

第6 図書出版

10. 1 「病院とともに幾歳月」 1000部発行

第7 日本病院学会

(1) 第14回日本病院学会

7月8日～10日 3日間 東京文化会館に於て開催

(2) 日本病院学会評議員会

9月7日 虎の門共済会館に於て開催

資料の2

昭和39年度歳入、歳出決算書

自 昭和39年4月 1日
至 昭和40年3月31日

歳入総額 8,026,473円
歳出総額 8,026,473円
差引額 0円

社団法人 日本病院協会

歳入の部

歳入の部	歳入額円	予算額円	予算額に対する比較(△減)円	摘要
1 会費	4,227,400	6,989,600	△2,762,200	
(1) 本年度会費	3,892,500	6,773,600	△2,881,100	
(2) 過年度会費	334,900	216,000	118,900	
2 寄付金	1,034,000	100	1,033,900	1口2,000円 臨時拠出金
(1) 寄付金	1,034,000	100	1,033,900	157施設 517口
3 雑収入	2,250,788	2,764,000	△513,212	ドック部会費553,000 事務部会費104,000 健康連よりの調査費300,000 その他224,035
(1) 雑収入	1,181,035	384,000	797,035	
(2) 出版収入	1,069,753	2,380,000	△1,310,247	
刊行物費	200,578	420,000	△219,422	会報売上代
広告料	869,175	1,960,000	△1,090,825	会報掲載広告料
4 繰越金	470,285	514,100	△43,815	39.3.31現在高
(1) 前年度繰越金	390,098	514,100	△124,002	預貯金及び手許金 会費予納30,000 公積金7,000
(2) 仮受金	37,000		37,000	
(3) 法務局供託金	30,000		30,000	定期預金
(4) 積立金	13,187		13,187	
5 仮受金	44,000		44,000	
歳入総額	8,026,473	10,267,800	△2,241,327	

歳出の部

歳出科目	歳出額 円	予算額 円	予算に対する 比較 (△減) 円	摘 要
1 事務費	4,201,643	4,440,000	△238,357	
(1) 職員給与	1,927,299	2,032,100	104,801	
俸給	1,342,154	1,462,000	△119,846	職員4名基本給与
諸手当	585,145	570,100	15,045	期末手当、職務手当、超過勤務手当及び通勤手当
(2) 厚生費	816,495	215,900	600,595	退職金3名809250及び社会保険料
(3) 旅費交通費	72,790	200,000	△127,210	都電回数券を含む
(4) 物品費	120,255	350,000	△229,745	
備品費	25,600	150,000	△124,400	書棚1 蛍光灯4等
消耗品費	94,655	200,000	△105,345	法規差替、新聞代、事務用品
(5) 役務費	1,264,804	1,642,000	△377,196	
印刷製本費	197,940	300,000	△102,060	孔版印刷代
通信運搬費	257,632	350,000	△92,368	郵便料、電信電話料
光熱水料	50,357	50,000	357	電気料、ガス料金
借料損料	660,000	660,000	-	事務所借上料
雑役務費	96,685	282,000	△185,315	清掃料、法人都税振替手数料、他
2 会議費	126,039	510,000	△383,961	
(1) 総会	28,620	110,000	△81,380	総会、評議員会、理事会
(2) 役員会	97,419	220,000	△122,581	全国理事会、常務理事会
(3) 諸会議	-	180,000	△180,000	
3 事業推進費	361,931	1,130,000	△768,069	
(1) 委員会費	298,727	564,000	△265,273	診療管理部会、事務管理部会 病院制度、病院経営、広報委員会 その他 研究会速記料
(2) 調査研究費	5,350	100,000	△94,650	
(3) 資料整備費	4,704	100,000	△95,296	全国社会保険人名簿
(4) 渉外費	5,000	366,000	△361,000	
国際病院連盟	-	124,000	△124,000	
地方協力費	-	182,000	△182,000	
渉外雑費	5,000	60,000	△55,000	

歳出科目	歳出額 円	予算額 円	予算に対する 比較 (△減 円)	摘 要
4 広報費	2,432,440	3,787,800	△1,355,360	
(1) 会報発行費	2,430,440	3,727,800	△1,297,360	
編集費	419,020	957,000	△ 537,980	編集手当、期末手当
印刷費	1,727,200	2,400,000	△ 672,800	会報113号-124号
発送諸費	284,220	370,800	△ 86,580	全上発送諸費
(2) 広報雑費	2,000	60,000	△ 58,000	
5 学 会	100,000	100,000	-	
(1) 日本病院学会	100,000	100,000	-	第14回学会助成金
6 予備費	-	300,000	△ 300,000	
(1) 予備費	-	300,000	△ 300,000	
7 法務局供託金	30,000		30,000	職業紹介中止、供託金返金 雑収入に繰入れ
8 仮受金	37,000		37,000	39年度会費に振替及び支払い
9 繰越金	737,420		737,420	銀行預金 623,861
(1) 翌年度繰越金	679,513		679,513	" 定期預金 13,907
(2) 積立金	13,907		13,907	振替貯金 96,471
(3) 仮受金	44,000		44,000	手許金 3,181
歳出総額	8,026,473	10,267,800	△2,241,327	

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和40年4月24日

監事 矢田 城太郎 印

監事 村田 嘉彦 印

財 産 目 録

昭和40年3月31日現在

資産の部

現金	手許保有高		<u>3,181円</u>
銀行預金	富士銀行本郷支店	169,394円	
	三和銀行本郷支店	411,291円	
	住友銀行神田支店	43,176円	
			<u>623,861円</u>
定期預金	富士銀行本郷支店		<u>13,907円</u>
振替貯金	東京貯金局		<u>96,471円</u>
電話加入権	(811~4371)		<u>250,000円</u>
什器備品	47件		<u>219,750円</u>
		資産合計	<u>1,207,170円</u>

負債の部

仮受金	会費予納金	28,000円	
	刊行物代預り金	10,000円	
	旅費預り金	6,000円	
		負債合計	<u>44,000円</u>

差引正味資金 1,163,170円

上記について監査したところ相違ないことを認めます。

昭和40年4月24日

監 事 矢 田 城 太 郎 ㊟

監 事 村 田 嘉 彦 ㊟

財産目録

昭和40年3月31日現在

資産の部

現金 手許保有高 3,181円

銀行預金 富士銀行本郷支店 169,394円

三和銀行柳支店 411,291円

住友銀行神田支店 43,176円

計

623,861円

定期預金 富士銀行本郷支店 13,907円

振替貯金 東京貯金局 96,471円

電話加入権 (811-4371) 250,000円

什器備品 47件 219,750円

資産合計 1,207,170円

負債の部

仮受金 会費予納金 28,000円

刊行物代預金 10,000円

旅費預り金 6,000円

負債合計

44,000円

差引正味資産

1,163,170円

什器備品内訳

昭和40年3月31日現在

品名	単位	数量	価格	備考
机	口	9	37,700 円	
卓子	"	4	20,000	
椅子	脚	6	30,100	
側置書棚	口	3	9,000	
	"	6	35,600	
ロッカー	"	1	16,000	
キャビネット	"	1	4,000	
カード箱	"	1	5,000	
宛名印刷機	台	1	5,500	
秤	"	2	3,900	
ストーブ	口	3	22,600	
図書	揃	1	5,000	加除式 43冊
黒板	枚	3	11,200	
新聞受	口	1	2,000	
ホールスタンド	"	1	2,800	
蛍光灯	"	4	2,350	
計		47	219,750	

以上承認いたします

昭和40年5月12日

社団法人 日本病院協会

理事 橋本寛敏

同 神崎三益

同 向島良二

同 内藤比天夫

同 村田三彦

同 佐藤元一郎

同 根元儀一

同 五十嵐 衡

同 佐川 誠一

同 桂 重 鴻

同 河合 繁 平

同 安田 久

同 棚橋 三 郎

同 高橋 昇 平

同 小野 康 平

同 久保 園 善次郎

同 島 清 一郎

同 小山 武 夫

同 近藤 六 郎

同 長谷川 敏 雄

同 片山 弘

同 山田 鉄三郎

理	事	秋	山	勝
同		多	賀	一郎
同		三	枝	勇雄
同		乾		成美
同		入		貞弥
同		太	田	武
同		井	上	正吾
同		古	玉	太郎
同		武	藤	多作
同		棟	久	一夫
同		高	上	勲
同		田	野	建二
同		楠		五郎雄
同		宮	崎	達
同		平	賀	稔
同		水	野	近
同		小	野田	敏郎
同		佐	野	忠正
同		渡	辺	進
同		山	中	義一
同		星	野	則行
同		塚	田	恒助
同		阿	久津	慎
同		後	藤	光治
同		萩	原	義雄

理事

日下

連

同

康

陽

一

同

横

田素

一郎

以

上

(資料 3)

昭和40年度事業計画 (案)

社団法人 日本病院協会

方針

1. 協会活動を全国におしすすめ、地方活動の活潑化につとめる。
2. 病院のはたらきをよくする活動を活潑にするため各種部会研究会の活動を推進する。
3. 公私病院連盟の設立により、対外的活動は連盟にゆずり病院協会はその主張の基礎となる資料の整備につとめる。
4. 保険財政の窮迫に伴う健保制度の根本的改正にそなえ協会としてこれに対応する態勢をつくる。

事業

1. 病院の管理運営及び施設の改善向上

診療管理部会…………… 幹事制度で毎月第3火曜開催
事務管理部会…………… 幹事制度で毎月第2金曜開催
医事研究会…………… 奇数月第3水曜
病院管理総合部会 …… 概ね毎月(第4木曜)開催
栄養管理研究会 …… 偶数月第1火曜開催
看護管理部会…………… 奇数月第1火曜開催
各種委員会・各種研究会議
病院研究旅行…………… 11月上旬 鳥取・島根

2. 病院関係者の教育・指導待遇改善及び表彰

衛生検査技師講習会……………12月4日 京都市

院長ゼミナー

表彰(ナイチンゲール賞)

3. 病院の公衆衛生活動

短期人間ドック研究会及び講習会…………… 8月26・27日 諏訪市

短期人間ドックの推進

妊婦ドック・主婦ドック・育児相談の推進

臨床予防活動実施病院の増加

4. 病院の規格及び医師実地習練施設の調査研究

委員会において研究

5. 社会保険・医療法人・医療金融・医業課税その他関係諸制度の調査及び病院用瓦斯・水道・

電力等の特別料金について委員会にて研究

経済委員会による社会保険の改善についての研究

病院管理総合部会にて研究

6. 薬品及び食品等病院用品の調査研究

事務管理部会・栄養管理研究会・看護管理部会等にて研究

7. 病院事業の国際的活動

国際病院連盟理事国としてのはたらき、国際病院会議の参加、Study Tour への

参加

会議の開催に関する件

海外見学の斡旋・紹介

日本病院協会の海外見学旅行計画樹立

8. 病院学会及び病院大会

日本病院学会 5月13・14・15日 京都市

9. 政府その他関係団体との連絡協議

政府・医師団体・開設別病院団体・保険者団体・看護団体等との緊密化

10. 会報と刊行物

会報の充実と出版部の充実と活動

(資料 4)

社団法人 日本病院協会 昭和40年度歳入歳出予算書 (案)

(40.4.1 ~ 41.3.31)

歳入総額 8,488,000円

歳出総額 8,488,000円

歳入の部

款 番 号	歳入科目	40年度予算額 円	前年度予算額 円	前年度との比較 (△印本年度減)	摘 要
1.	会 費	5,300,000	6,989,600	△1,689,600	大中な収入減は過大な予想をやめ昭和39年度会費の約3割増を計上
(1)	本年度会費	5,100,000	6,773,600	△1,673,600	
(2)	過年度会費	200,000	216,000	△ 16,000	
2.	寄 付 金	100	100	—	
(1)	寄 付 金	100	100	—	
3.	雑 収 入	2,687,900	2,764,000	△ 76,100	ドック病院会費及び指定手数料、各種部会費、39年度の実績の5割増とした為。
(1)	雑 収	1,200,000	384,000	816,000	
(2)	会 報 収 入	1,487,900	2,380,000	△ 892,100	
	会 報 誌 代 告 告 収 入	287,000 1,200,900	420,000 1,960,000	△ 133,000 △ 759,100	
4.	繰 越 金	500,000	514,100	△ 14,100	
(1)	繰 越 金	500,000	514,100	△ 14,100	
	合 計	8,488,000	10,267,800	△1,779,800	

歳出の部

款 番 号	歳出科目	40年度予算額 円	前年度予算額 円	前年度との比較 (△印本年度減)	摘 要
1.	事 務 費	3,921,000	4,440,000	△ 519,000	人員減、他
(1)	職 員 給 与	1,819,000	2,032,100	△ 213,100	常勤3名の現員現給
	俸 給 諸 手 当	1,212,000 607,000	1,462,000 571,000	△ 250,000 36,900	
(2)	厚 生 費	453,000	215,900	237,100	職員退手引当金、積立等新設
(3)	旅 費 交 通 費	100,000	200,000	△ 100,000	役、職員の旅費、都内交通費、電車バス回数券購入を含む
(4)	物 品 費	164,000	350,000	△ 186,000	法規差替、新聞購読代、を含む
	備 品 消 耗 品	20,000 144,000	150,000 200,000	△ 130,000 △ 56,000	
(5)	役 務 費	1,385,000	1,642,000	△ 257,000	
	印 刷 製 本 費	240,000	300,000	△ 60,000	事務用、会議用、事業推進用の印刷及び製本代
	通 信 運 搬 費	240,000	350,000	△ 110,000	郵便料、電信電話料、荷造運搬料等
	光 熱 水 料	50,000	50,000	—	電気、ガス、水道の料金
	借 料 損 料	660,000	660,000	—	事務所借上料月55,000円
	雑 役 務 費	195,000	282,000	△ 87,000	備上賃金、諸手数料、清掃料法人都税、謝金、その他
2.	会 議 費	390,000	510,000	△ 120,000	会場借上料、速記料、接待料、その他会場雑費
(1)	総 会	110,000	110,000	—	定期、臨時の2回分
(2)	役 員 会	200,000	220,000	△ 20,000	理事会8回、評議員会3回、常務理事会15回
(3)	諸 会 議	80,000	180,000	△ 100,000	諸団体合同会議 2回
3.	事 業 推 進 費	826,000	1,130,000	△ 304,000	病院制度、病院経済ほか各種委員会及部会運営費
(1)	委 員 会 費	552,000	564,000	△ 12,000	
(2)	調 査 研 究 費	50,000	100,000	△ 50,000	病院管理経営に関する調査研究
(3)	資 料 整 備 費	30,000	100,000	△ 70,000	図書雑誌類の購入、及びほん訳、複写等の料金
(4)	渉 外 費	194,000	366,000	△ 172,000	会費年額£112(ロンドン送金) 会費徴収方法の変更
	国際病院連盟費	124,000	124,000	—	
	地方協力費 渉 外 雑 費	50,000 20,000	182,000 60,000	△ 132,000 △ 40,000	
4.	広 報 費	2,951,000	3,787,800	△ 836,800	発行部数の整理
(1)	会 報 発 行 費	2,931,000	3,727,800	△ 796,800	日本病院協会々報 毎月15日発行 編集手当、原稿謝礼、速記料、取材、写真等の経費
	編 集 費 印 刷 費	552,000 2,040,000	957,000 2,400,000	△ 405,000 △ 360,000	
	発 送 諸 費	339,000	370,800	△ 31,800	郵便料、発送用封筒、宛名印刷、封入発送手数料等
(2)	広 報 雑 費	20,000	60,000	△ 40,000	報道クラブ費他
5.	会 費	300,000	100,000	△ 200,000	第十五回日本病院学会助成金(開催地 京都) 参加団体への負担金及会費
(1)	日 本 病 院 学 会	100,000	100,000	—	
(2)	会 費 負 担 金	200,000	—	△ 200,000	
6.	予 備 費	100,000	300,000	△ 200,000	
(1)	予 備 費	100,000	300,000	△ 200,000	
	合 計	8,488,000	10,267,800	△1,779,800	